

起こしてみようか？

オブローモフ

ロシア “怠け者小説” の読み方

話し手

大西 郁夫 さん

北海道大学大学院文学研究科
西洋文学講座 教授「ロシア文学」



フェスタ
国立大学2018

2018年11月17日(土)

15:00～16:30 (14:30 開場)

紀伊國屋書店札幌本店

sapporo 55ビル インナーガーデン(北5西5)

定員 約100名 参加費無料・事前予約不要
当日直接会場にお越しください

主催 北海道大学大学院文学研究科・人文学カフェ実行委員会
連絡先 北海道大学大学院文学研究科 研究推進室

TEL: 011-706-4083 Email: kenkyu@let.hokudai.ac.jp

<https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>

起こしてみようか？

オブローモフ

ロシア“怠け者小説”の読み方

アリの2割はいつも怠けていて、でもそれがアリ社会の維持には必要不可欠なのだそうです。ロシア文学にも名だたる怠け者を描いた小説『オブローモフ』（ゴンチャロフ作）があります。いつまでたっても寢床から起きださないその主人公にも怠ける理由があるのでしょうか。伝統的な解釈では、19世紀までロシアに存続した農奴制がこうした「余計者」を生んだと見なされてきました。でも今回はなんとか彼を起こしてみたいと思います。こんな主人公にあなたは共感を抱くでしょうか、それともイライラするでしょうか。登場人物への好き嫌いも大切な読み方ですが、他の読み方だって考えられます。オブローモフが怠けることにはいったいどんな意味があるのかを探りながら、彼の物語がどこまで広がっていくのか味わっていただければと思います。

話し手のプロフィール



大西 郁夫（おおにし いくお）さん
北海道大学大学院文学研究科
西洋文学講座 教授〔ロシア文学〕

1958年大阪府生まれ。北海道大学文学研究科修士課程修了、同博士課程単位取得退学。北海道大学文学部助手、助教授を経て、現職。19世紀リアリズムを中心にロシア文学を研究。ゴンチャロフの『オブローモフ』も含めて、変わり者や酔っぱらいに溢れたロシア文学に魅せられている。主要業績「ロシア文学における食の風景」（『食と文化—時空をこえた食卓から—（北海道大学文学研究科ライブラリ）』細田典明（編著）北海道大学出版会、2015年収録）など。

北大文学カフェとは

北大文学カフェは、北海道大学大学院文学研究科の研究者と、飲み物を片手に気軽に語り合うイベントです。内容は哲学、歴史学、文学、社会学、心理学などさまざま。人文学・人文社会科学の楽しい話題を通して、みなさんと北大文学研究科との交流を深めていくことを目指しています。

お問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究科 研究推進室
〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目
TEL: 011-706-4083
Email: kenkyu@let.hokudai.ac.jp
<https://www.let.hokudai.ac.jp/research/cafe/>